

講演

# 子どもものの心の傷つきとメンタルヘルス -自殺との関連を含めて

子どもや青少年の精神的な健康問題が社会的に大きな関心を集めるなか、  
ストレスやトラウマがメンタルヘルスに及ぼす影響、さらには自殺との関連について理解を  
深めることがますます重要となっています。

本講演では、八木先生のご研究や臨床経験をもとに、心の傷つきが子どもたちのにどのように  
影響するのか、また支援のあり方についてお話しいただきます。ぜひご参加ください。

岩手医科大学医学部神経精神科学講座 教授  
附属病院児童精神科 診療科部長  
いわてこどもケアセンター 副センター長

演者

八木 淳子 先生

1993年福島県立医科大学卒業。山形県立中央病院での勤務を経て、宮城県子ども総合センター、盛岡少年刑務所・盛岡少年院、もりおか  
こども病院、岩手医科大学附属病院などで臨床経験を積む。2012年に岩手医科大学医学部大学院を修了し、2013年よりいわてこどもケア  
センター副センター長に就任。2019年より岩手医科大学附属病院児童精神科診療科部長に就任し、2022年より現職。

現在、日本トラウマティックストレス学会理事、日本小児精神神経学会理事・災害対策委員長、日本児童青年精神医学会代議員、日本精神  
神経学会児童精神科医療研修委員会委員、東北精神神経学会評議員、東北児童青年精神医学会評議員、トラウマフォーカスト認知行動  
療法LC研究会共同代表を務める。

主著に、『東日本大震災とこころのケア—被災地支援10年の軌跡—』(日本評論社)、『子どものトラウマとPTSDの治療』(誠信書房)、  
『複雑性PTSDの臨床実践ガイド』(日本評論社)などがある。

日時：令和7年3月31日(月)

18:30-19:30

形式：『Zoom』によるオンライン配信

## 参加申し込み方法

①右の二次元バーコードから登録

②下記連絡先までメール

m.ikhr@naramed-u.ac.jp

のどちらかの方法で3/31(月)AMまで  
にお申し込みください

